





審査結果報告書

平成28年2月4日

主査氏名 生地 新 

副査氏名 田中 浩和 

副査氏名 岩満 優美 

副査氏名 宮岡 亨 

1. 申請者氏名 : DM11022 染村 宏法

2. 論文テーマ :

Effects of Brief Communication Skills Training Workshop on Improving Workers' Communication Behavior : A Randomized Controlled Trial

(短時間のコミュニケーションスキル訓練が労働者のコミュニケーション行動を改善する効果についての検討：無作為化比較試験)

3. 論文審査結果 :

本論文は、3時間のコミュニケーションスキル訓練を民間企業の労働者に行い、訓練前後のコミュニケーション行動の自己評価の変化について無作為化比較試験で検討した研究の成果を論文化したものである。コミュニケーション訓練は、相手との良好な関係作りや共感のし方や相手への質問によって問題を分析し解決に導く方法を教育するものであった。コミュニケーション行動の自己評価のためのオリジナルな質問票は4つの質問項目から構成されている。研究の結果、介入群は対照群に比べて、「相手とともに一緒に考える」という項目が改善していた。介入前にコミュニケーションスキルが低いと自己評価していた下位1/2群のサブ解析では「相手とともに一緒に考える」と「課題や問題点を上手に聞き出す」の2項目が改善した。コミュニケーションスキル訓練の効果についての先行研究は、医療職対象の研究が多く、民間企業の労働者に無作為化比較試験の方法で検証した研究は少ない。本研究は産業精神保健の領域での新しい知見をもたらしたと言える。公開審査では、主観的評価が実際のコミュニケーション行動をどの程度反映しているのか、質問項目の文章をどのように作成したか、などについて真剣な討論が行われた。学位申請者は、研究内容を的確に説明し、質問に対しても適切に回答することができた。以上より、本論文は、北里大学大学院医療系研究科博士課程の学位論文としてふさわしいものと判断した。